

# 雷の子

いかずちの子

カトリック町田教会  
町田市中町3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512



<http://www.machida-catholic.jp/>



イエスの頭を包んでいた布切れが  
亜麻布と一緒に平らにはなっておらず、  
元の所に巻いたままになっていた。  
ヨハネ 20：7

## 『何を論じ合っているのか』

主任司祭 アシジの聖フランシスコ 田中 隆弘

イエスは弟子たちに「途中で何を議論していたのか」とお尋ねになった。彼らは黙っていた。途中でだれがいちばん偉いかと議論し合っていたからである。

イエスは座り、十二人を呼び寄せて言われた。「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、すべての人に仕える者になりなさい」そして、一人の子供の手を

取って彼らの真ん中に立たせ、抱き上げて言われた。

「わたしの名のためにこのよ  
うな子供の一人を受け入れる  
者は、わたしではなく、わた  
しをお遣わしになった方を受  
け入れるのである」(マルコ  
9・33b・37)

わたしは司祭叙階後、新司  
祭としてカトリック町田教会  
の助任司祭として働きはじめ  
ました。ある時、主任司祭の

酒井神父さんと共に市役所に  
選挙の期日前投票に行きまし  
た。選挙投票日当日が子ども  
たちの夏期キャンプ中だった  
からでした。

その際に「職業」を選択記  
入するのですが、当然「神  
父」はないのです。初めての  
ことだったので、隣の酒井  
師に「何を記入すればいいの  
ですか？」とたずねると「わ  
たしたちは『奉仕職』だから  
『サービスマン』にすればいい  
」と答えてくれました。なるほ  
ど、と想い「サービスマン」に  
するしをつけて選挙投票をす  
ませました。

その帰り道、東京教区司祭  
のなかでサービスマン精神随一の  
酒井師は「わたしたちがサー  
ビスマンということは信者の皆  
さんにはだまっていようね！  
サービスマンするように言われ  
てしまうから」とニコニコ  
笑って言いました。わたしは  
とてもおもしろかったので、  
帰って皆さんに報告しました。

しかし、司祭だけではなく、  
イエス・キリストの弟子であ  
るわたしたちは皆「仕える  
者」なのではないでしょうか。

イエスは腰をおろして、そ  
のことを教えてくれています。  
重要、重大なことだからです。  
(当時「町田シバヒロ」のた  
ろに町田市役所がありました。  
便利だったのですが……)

## 中村哲さんのこと

運営委員 小山 夏比古

この記事の原稿依頼が届く  
前日、ある人の誘いで都内の  
大学で自主上映された映画を  
見ました。映画のタイトルは  
「荒野に希望の灯をともし」、  
パキスタン、アフガニスタン  
でNGO「ペシャワール会」  
の現地事業体PMS(平和医  
療団・日本)を率い、約36年  
にわたり医療と灌漑事業にそ  
の生涯を捧げた医師・中村哲  
の生きざまを描いたドキュメ  
ンタリーです。

映画はパキスタンの国境の  
町ペシャワールでの、押し寄  
せる夥しい数の病人を治療す  
る医師の壮絶な闘いを映像  
と語りで克明に描いていま  
す。痛みに泣き叫ぶ重症のハ  
ンセン病の女性の手術を悩み  
抜いた末に決断し、術後笑顔  
を見せるその患者の姿を見る  
時、「いのち」というものが、  
言葉だけではなく重みを持つ  
た「存在」そのものとしてそ  
こに立ち現れるのです。また、  
アフガニスタンでは、医療と  
共に農業復興のため1600  
本もの井戸を掘り、25キロに  
及ぶ水路建設を遂行、現場で  
工事を指揮し広大な砂漠を緑  
の大地に変えたのです。米軍  
ヘリによる銃撃の脅威にさら  
されながらも自ら重機を操作

し川を堰き止め、失敗すると  
故郷九州の河川を調査、江戸  
時代の斜め堰工法を学ぶなど  
の努力を重ね、多くの困難の  
末に地元民の海軍戦術によつ  
て水路を完成させました。そ  
して今、勢いよく流れる水路  
が、かつての干ばつの大地  
をめぐみ豊かな緑野に変え、  
65万人の命を支えているので  
す。見渡す限りの灰色の砂漠  
が緑に覆われる美しい映像は  
まさに息をのむ圧巻です。し  
かし、2019年12月。水路  
建設現場へ向かう途中、中村  
医師は凶弾に倒れました。そ  
の突然の死は多くの人々に深  
い悲しみをもたらしました。  
彼の生涯とその偉業はマザー  
テレサと同等、あるいはそれ  
を超えるのでは、とさえ思う  
ほどです。彼は中学生の時に  
福岡でバプテスマの洗礼  
を受けたそうです。もしカト  
リックであれば、間違いなく  
聖人の列に加えられることで  
しょう。生前、彼はこんなこ  
とを言っています。「道で倒  
れている人がいたら手を差し  
伸べる―それは普通のこと  
です」。彼の生きざまを見る時  
「平和を願う」ことが祈りだ  
けではなく現実の行動が必要  
なことを思い知らされるので



プの最大のイベントは、毎年恒例のクリスマスパーティーです。持ち寄り形式で約80名が集まり、手料理や飲み物、お菓子、フルーツがテーブルいっぱいになります。子どもたちは元気にクリスマスソングを歌い、大人たちはゲームを楽しんで、さらにダンスは大人数と一緒に踊って大盛り上がり。途中から「サンタクロースさん」が登場し、プレゼント交換もあり、世代や国籍を越えて心がひとつになる特別な時間が流れました。

私たちインターナショナルグループは、どなたでも大歓迎です。気軽に参加いただき、ぜひ私たちと一緒に、兄弟姉妹と「仲間」の輪を広げてみませんか。

私たちがインターナショナルグループは、どなたでも大歓迎です。気軽に参加いただき、ぜひ私たちと一緒に、兄弟姉妹と「仲間」の輪を広げてみませんか。

### 新着図書紹介

図書係 御郷 文



### 『イエスの示す道』

受難節の黙想

ヘンリ・J・M・ナウエン 著

友川榮 訳

灰の水曜日から復活の主日までの四旬節の黙想のための本です。一日ごとに、その日のみ言葉・人生の現実をイエスと共に生きるための黙想・祈り、で締めくくる形になっています。

著者の深い祈りにより、神様の愛と呼びかけに静かに耳

を傾けることの大切さに気付かされ、四旬節の回心の祈りへと優しく導かれます。

「：祈るのはわたしではなく、神の聖霊がわたしの中で祈っておられるのだと。～もちろん、神はわたしの祈りを聴いておられます。神ご自身がわたしの中で祈っておられ、愛をもって今、ここで全世界に触れておられるのです」(p. 115)

四旬節のこのとき、主の御声を聴くひとときにおすすめの一冊です。

※著者ヘンリ・ナウエン関連蔵書に『いまここに生きる生活の中の靈性』、『今日のパン明日の糧』他、数書あり。

### 『アンジェラスの鐘』

希望への招き

加藤 美紀 著

大学で教鞭をとるシスターのエッセイと、その父、将棋棋士の加藤一二三氏との対談からなる一冊。

ウィズコロナの時代に書かれた本書は、シスターのご体験、フランクルの『夜と霧』などの名著や心理学、映画など多彩なテーマを取りあげ、困難や不条理の中でも神の慈愛を見出し、祈り、希望の道を再び歩むための霊的なヒントが丁寧に描かれている。

著者は自他の苦しみは繋がっており、人々が共に祈り

合い連帯するときこそ、神の愛に包まれた希望の光が輝くと述べる。

また後半は、神様のみ旨に従い将棋人生を歩まれたお父様との楽しい対談からも、祈りと共に生きる大切さを教えられるとともに、人々に愛された「ひふみん」の生前のチャーミングな素顔が目につかびます。

※本稿執筆中に、ご尊父加藤一二三氏が帰天されました。

謹んで故人の永遠の安息をお祈り申し上げます。

・図書購入予定本のお知らせ  
『わたしはあなたを愛している 貧しい人々への愛について』

(教皇レオ14世 使徒的勸告)

『広島教区百年史』

(百年史編纂委員会) 将来に向けた「歴史書」として編さんされた。

### 長岡大空襲余話

後藤文雄神父を偲んで

山口 良樹

長岡の大空襲についての手記をまとめはじめた昨年9月末に、後藤文雄さんの訃報が届きました。空襲で家族4人を失い、2年半後に長岡桜木町教会を訪れた血気盛んな青年が彼でした。お寺の次男坊として生まれた彼は、のちに「教会との出会いは、不純



### ワンポイント聖書 温故知新

⑪

ホザンナ

ミサの度に私たちは「天には神にホザンナ」と歌うが、ホザンナとは一体どんな意味だろうか？今回はそれを一考しよう。

福音書は主イエスがエルサレムに入られた時、群衆が「ダビデの子にホサナ、いと高きところにホサナ」と叫んだと伝えられている。ホザンナは、ホサナ、ホサンナとも訳されるが、語源は *hosanna* というヘブライ語で、本来の発音はホーシャーナーだ。

重要な意味だが、それはヘブライ語の動詞「ホーシャーア」(救う)の単数男性命令形「ホーシャーア」と、嘆願を表す「ナー」の2語で成っており、本来の意味は「どうぞお救いください」だ。だが、主を取り巻いていた群衆は外国支配からの解

放を切望していたから、その叫びは「勝利を」や「万歳」を意味してもいただろう。主イエスはそれとは全く別次元の全人類を罪から救うという、崇高な解放を目指しておられたが、救いの意味は重層的だからか、むしろ群衆がそう叫ぶのを容認しておられた。

では、なぜ私たちもホザンナと感謝の賛歌を歌うのだろうか？ 答えは感謝の賛歌にあるが、特に死と復活によって救いを成し遂げるために来てくださった主への感謝を表すためだと思う。神様の壮大な業を想起し、私たちは今も感謝と畏敬の念を込めて、ホザンナと歌い続けるのである。

余生風 佐藤 正明



成人式 おめでとう 1月11日

2026年 町田教会の主な年間行事予定

- 1月1日(木) 神の母聖マリア
- 2月15日(日) 信者総会
- 2月18日(水) 灰の水曜日
- 3月29日(日) 受難の主日(枝の主日)
- 4月2日(木) 聖木曜日(主の晩餐の夕べのミサ)
- 4月3日(金) 聖金曜日(主の受難の祭儀)
- 4月4日(土) 復活の聖なる徹夜祭
- 4月5日(日) 復活の主日
- 6月7日(日) 初聖体(キリストの聖体)
- 7月26日(日) 聖ヤコブの集い(生涯養成委員会主催)
- 7月31日(金)～8月1日(土) 夏期学校(教会学校)
- 8月9日(日) St.弘田講演会
- 8月15日(土) 聖母被昇天
- 9月20日(日) 長寿感謝ミサ(14:00)
- 10月4日(日) アシジの聖フランシスコ修道者(田中神父霊名)
- 11月4日(水) 府中共同墓地墓参
- 11月8日(日) 死者追悼ミサ
- 12月24日(木) 主の降誕(夜半のミサ)
- 12月25日(金) 主の降誕(日中のミサ)

な動機からでした」と、可愛い三つ編みの少女との邂逅を回顧しています。しかし彼は、伝道師であった私の父のもとに日夜通い、熱心に耳を傾け、ときには猛烈な議論をし、教会の教えを学びました。

1948年(昭和23年)5月に洗礼を受け、2年後神学校へ進み、1960年(昭和35年)司祭に叙階されました。

大空襲、敗戦、荒れた生活――そんな経験を経た彼は、上京の折に上野駅の地下道にたむろする戦災孤児の悲惨な光景を目撃して大きな衝撃を受けます。のちに、内戦で荒廃したカンボジアの難民の子

供たちを引き取り里親となり、さらに「平和を築くのはこれからの子供たち」と、カンボジアに小学校を多く建て、教育を支援する異色のカトリック神父となったのです。

2012年(平成24年)1月カンボジアで17校目となる小学校の竣工式で、後藤神父様は「長岡で学んだ米百俵の精神がカンボジアへの支援を後押ししてきた」と語っています。人間の愚かな所業である戦争を憎み、平和への思いで突き進んだ、長岡大空襲の「証人」の一人です。

後藤文雄神父様の永遠の安息をお祈り致します。



中高生会クリスマス会  
(2025年12月28日)



土曜学校クリスマスお泊り会  
(2025年12月13～14日)



ヨゼフ会新年会 (2月1日)

拾い読み

信徒ホールの階段下に置かれた小さな段ボール箱の中から、本当に拾うようにして手にした本『遙かなる空へ』。当教会の信者U・Jさんが亡き夫U・Kさんを偲んでまとめられたおふたりの若き日の往復書簡集。篤い信仰に包まれた青春時代の愛の手紙のやり取り。今どきのメールやSNSでは育むことのできない愛と信仰のかけがえのない愛と信仰のかたちが刻まれています。相愛の熱量の激しさに少しあてられながらも、清涼の読後感を得ました。

編集後記

☆ご好評をいただいている「ワンポイント聖書」、前回と今回のサブタイトルでヘブライ語表記に付されたカタカナのルビを不審に思われた読者も多いのではないかと思います。先号では「ルエヌマンイ」。今号では「ーナチャーホ」。ヘブライ語は戦前の日本語同様右から左に向けた横書きなので、縦書きにするとうなるのです。ちなみに、下から上に向けて読んでみてください。

☆「イラストルポ」を担当されている池永廣美さんがケガのため、今回は過去の掲載分から再録しました。ご了承ください。編集担当者一同、一日も早い復帰を祈るばかりです。

信者動静

2025年8月～  
2026年1月

(個人情報のため、削除しています)